



バーチャルライオンズクラブを結成するには

バーチャルクラブとは、その名の通り、企画、勧誘、例会をバーチャル、すなわちオンラインで行うことができるライオンズクラブのことです。こうしたクラブは従来型のクラブに取って代わるものではなく、柔軟性が高まることから、会員候補がライオンズクラブ国際協会への入会勧誘に応じやすくしてくれます。以下のチェックリストが、バーチャルクラブを始めるにあたって生じるあらゆる疑問に答えてくれるでしょう。

□ 立ち上げたいバーチャルクラブのモデルを選択する

- a. オンラインプレゼンスモデル：このモデルで重要なのは、ウェブサイトやソーシャルメディアをしっかりと最新に保つことです。
- b. ハイブリッドモデル：このモデルは、会議を従来通りレストランや会議室などで開催するものの、ネットや電話で参加することも認めるものです。
- c. バーチャル会議モデル：このモデルは、90%の会合をバーチャルプラットフォームで行うような新クラブを結成するものです。

□ クラブ支部(5人以上)と独立したクラブ(20人以上)のどちらを立ち上げたいか決める

- a. 重要事項：クラブのチャーターメンバーのうち75%が、結成されるクラブのある複合地区内に居住または勤務している必要があります。

□ 地区の役員と協力し、作りたい支部または新クラブのスポンサー・クラブを見つける



- **チャーター申請書とチャーターメンバー報告書をもれなく記入し、MyLCIで提出する**
 - a. バーチャル会議モデルやハイブリッドモデルは、従来型クラブとして印を付けます。
 - b. バーチャル会議モデルやハイブリッドモデルのクラブ名は、命名規則に従うとともに、「バーチャル」や「サイバー」といった言葉を含めることができます。(例：ノースウエスタン・コネチカット・サイバー・ライオンズクラブ)
 - c. クラブやクラブ支部は、その名称に地名も含めなければなりません。
- **現職の地区ガバナーから承認を得る**
- **チャーター費を支払い、証明書類を提出する**
- **地区役員と協力し、今後2年間クラブまたはクラブ支部をサポートするガイディング・ライオンを最低1人任命する**

クラブ結成後

- **会議を開催するためのバーチャルプラットフォームを選ぶ**
 - a. クラブのニーズに沿ったバーチャルプラットフォームを選ぶことが重要です。
 - b. バーチャルプラットフォームの多くは無料の試用期間があり、バーチャル会議方法を決める前にプラットフォームを試すことができます。
 - c. 一部のバーチャルプラットフォームは、一定の時間まで無料で使えます。
 - d. 料金が必要なプラットフォームを選択する場合、この料金をクラブ会費で調整することをお忘れなく。
- **技術顧問やテクノロジー委員会を設ける**
 - a. 顧問や委員会は、バーチャルモデルについて教えたり、電話会議を設定したりすることを支援します。
 - b. 顧問は、技術的問題が生じた際には誰であれ直接連絡できる対応者となります。
 - c. 顧問やテクノロジー委員会のメンバーは、全会員に周知するための会議を開くこともあります。
- **クラブの全会員にバーチャル会議モデルについて学んでもらう**
 - a. 喫茶店や自宅で対面型の研修を行ってもよいでしょう。
 - b. 会議の招待を送信する際には、バーチャルプラットフォームの使い方についてのチュートリアルを常に含めます。
- **実際に会うことの大切さを忘れない**
 - a. バーチャル会議があっても、実際に顔を合わせることはすべてのライオンズ会員にとって価値ある体験であることに変わりありません。
 - b. どんなクラブであれ、成功のカギは仲間のライオンズと地域社会に出て奉仕事業を行うことです。これがクラブの団結を助け、クラブ内に強固な関係を築き上げることになります。

バーチャルクラブについてのお問い合わせは、Eメールで membership@lionsclubs.org までご連絡ください。

